



令和3年 12月号

地域学校協働活動だより

インターネットでの枕崎市ホームページの検索方法

枕崎市地域学校だより

検索

ホームページ
QRコード



発行

枕崎市
教育委員会
生涯学習課

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。QRコードやパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

～郷土教育で「駒水ヤンセ踊り」を学習～ 別府小学校

別府小学校では6年生の郷土教育として、10月から11月にかけて「駒水ヤンセ踊り」を学

習し、11月2日には小学校の学習発表会で踊りの披露を行いました。

「ヤンセ踊り」は、別府地区の駒水に古くから伝わる郷土芸能です。別府小学校では昨年度から6年生がヤンセ踊りの学習を行っていますが、「駒水ヤンセ踊り保存会」の方々が踊りの学習の時に毎回学校に来て、子供たちに踊りを指導してくれています。

「ヤンセ踊り」は独特の拍子があり、最初はとまどっていた子供たちでしたが、練習の回数を重ねるうちにめきめき上手になり、踊りがしっかり揃うようになりました。

学習発表会では衣装と面を着けて踊りの披露を行いました。素晴らしいヤンセ踊りの発表で、観覧の人たちの大きな拍手を受けていました。



立神小学校では、11月4日に3年生の授業で、「唐箕(とうみ)」や「めぐり棒」「千歯こぎ」など12種類の昔の道具を使っての体験活動・調べ学習を行いました。

～12種類の「昔の道具」を体験～ 立神小学校

立神地区公民館の青少年講座も兼ねており、立神校区の老人クラブの方々に昔の道具の使い方を教わりながら、実際に道具を使って「昔の暮らし」を体験しました。



昔の道具を体験するときを使う「稲わら」や「稲の粃(もみ)」「そばの実」などは、老人クラブの方々が毎年準備してくれています。

子供たちは、多目的教室や校庭を回りながら、「石うす」でそばの実をひいたり、「足踏み脱穀機」を足で踏んで稲わらを脱穀したりして、12種類全部の道具を体験して「昔の暮らし」を楽しんでいました。老人クラブの方々と触れ合いながら、子供達の貴重な体験活動になりました。

学校応援団ボランティア 募集中!

詳しくは
生涯学習課まで

TEL76-1286

別府小学校では、11月5日に4年生と別府校区老人クラブの方々とのふれあい交流がありました。

～グラウンドゴルフで高齢者と交流～ 別府小学校

別府地区公民館の青少年講座も兼ねていて、老人クラブの方々も子供たちとふれあうのを毎年の楽しみにしており、この日は18名の高齢者の方々が参加してくれました。



ほとんどの子供がグラウンドゴルフは初めての体験でしたが、チームに分かれて高齢者からボールの打ち方を教わりながら楽しくプレーしていました。

初めてグラウンドゴルフをする子供が、教えてもらったとおりに打てるようになり、なんと児童13人のうち2人がホールインワンを達成!子供達は大喜びでした。

初めてグラウンドゴルフをする子供が、教えてもらったとおりに打てるようになり、なんと児童13人のうち2人がホールインワンを達成!子供達は大喜びでした。

～枕崎の鯉節の歴史と伝統の講話～ 立神小学校

立神小学校では10月25日の4年生の「郷土の開発」の授業で、「枕崎の鯉節の歴史と伝統」について、立神校区で鯉

節製造業を営んでいる戸床安孝さんが講師となって話をしてくれました。

「郷土の開発」の授業は、立神地区公民館の青少年講座も兼ねており、地域の子供たちに地元の産業について知ってほしいということで、毎年行われているものです。

枕崎の鯉節は全国的にも有名で、生産量も国内の半分以上を製造しており、質・量ともに日本一の産地となっています。

戸床さんからは「生の鯉1匹から4本の鯉節ができるが、煙で燻して荒節を作るのに1か月、さらにカビ付けをして本枯節を作るのに4～6か月かかる」との話がありました。

授業の最後には「かつお節パック」のプレゼントがあり、子供たちが大変喜んでいました。



桜山中学校では10月27日に、1年生のクラスで毛筆の書写指導を、上釜孝子さんが行いました。

～文化祭展示の書道作品を書写指導～ 桜山中学校

学校の文化祭に展示する「天地」の文字の書写指導でしたが、最初に毛筆で書く時の基本として「筆は寝かさないうで垂直に持つ」「机と肘が水平になるように構える」ことを説明しました。



また、手本を見せながら「点画の筆使いを意識する」「文字のバランスに注意する」ことを説明し、その後生徒たちの中に入って手を取ったりして指導を行いました。

50分の授業でしたが、生徒たちは上釜さんが説明した注意点を気を付けながら、文化祭に展示する作品を上手に仕上げていました。